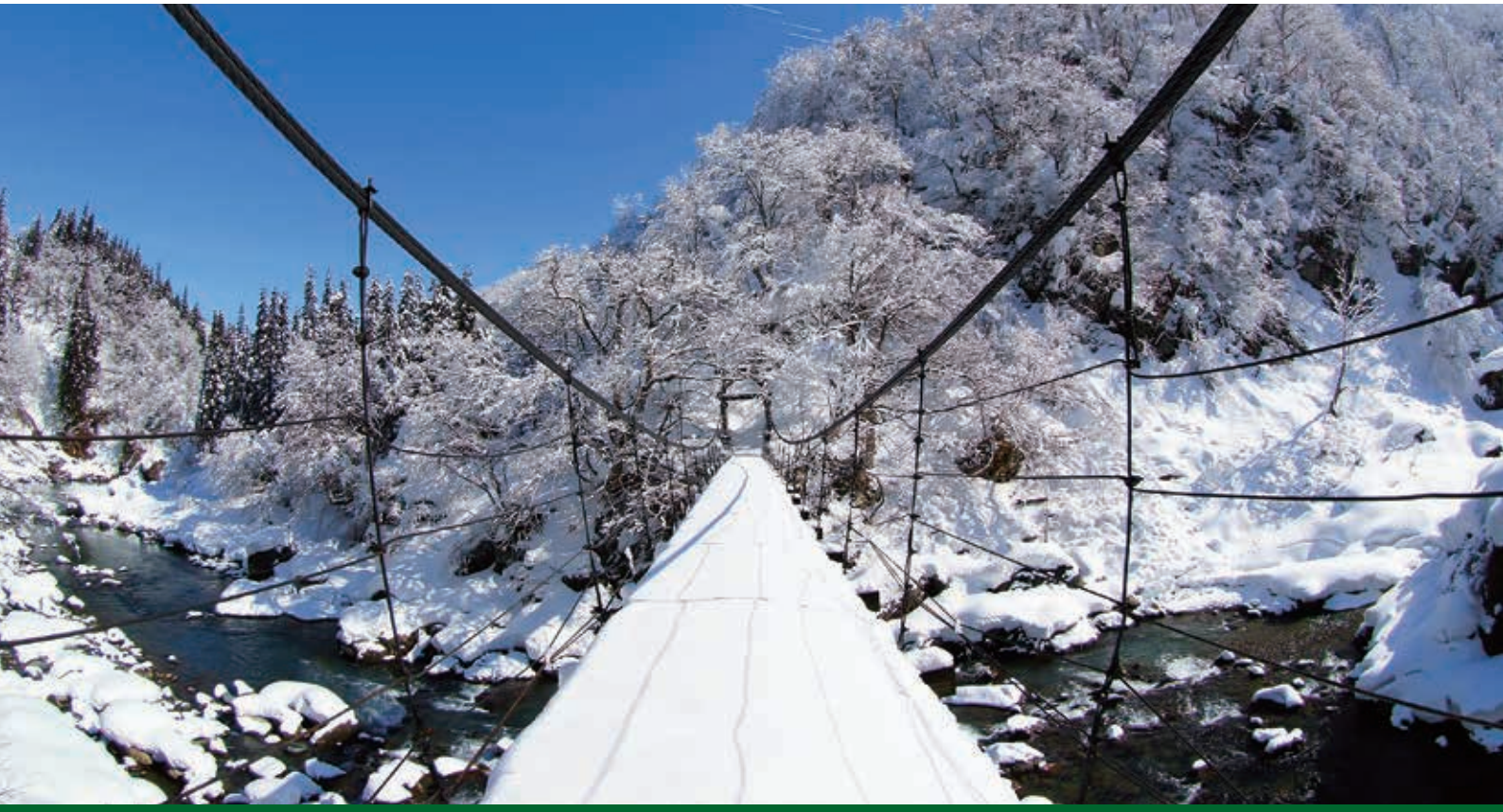
津南町森林組合

広報

しんりん

2018年1月号　vol.113

〒949-8311　新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176
発行／津南町森林組合　TEL.025-765-2510



見倉橋（内山義幸氏撮影）

新年のお慶びを申し上げます

代表理事組合長　涌井　九八郎

組合員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は夏以降天候不順となり、特に後半は長雨と低温の影響で、農業立町津南の主作物である米や野菜が大きな被害を受けました。

当組合におきましては組合員各位のご協力の下に、六月二十四日、創立五十周年記念式典を開催することができました。五十年の節目となり、津南町における森林組合としての役割を改めて問い直し、地域に貢献できる組合を目指して行かなければなりません。

また、九月二十九日には組合にとって最大不可欠のパートナーであります、日本食研ホールディングス㈱様創業四十六周年式典において、大変栄誉ある第九回貢献企業表彰を戴きました。

当組合も今月で二十九年度事業の決算となりますが、各部門ともほぼ計画通りの事業成果の達成が見通され、組合員の皆様を始め、関係各位に深く感謝申し上げます。

森林組合設立直後の時代背景もあり、津南においても全国的にも広葉樹から杉・桧の植林が進み、現在四十年生から五十年生になっています。今こそ環境保全の上でも健全な森林を維持するためにも、森林の整備が必要となっております。今年は是非所有山林を見て頂き、森林整備を考えて頂きたいと思います。有利な助成制度も用意してありますので、組合にご相談下さることを願っております。

本年が組合員皆様方にとりまして、より輝かしい年でありますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

貢献企業表彰！

素晴らしい賞をいただきありがとうございました。これからも頑張ってまいります。

KO 宮殿工場
宮殿食文化博物館

日本食研ホールディングス株式会社様より、当組合に貢献企業表彰をしていただきました。貢献企業表彰は、これまで日本食研様の発展に積極的に協力・支援した関係機関・団体・企業を選出し、感謝の意を表するということで、今回で九回目だそうです。愛媛本社で行われた日本食研グループ四十六周年記念式典の席上で、大沢一彦会長より表彰状と副賞をいただきました。

全国森林組合代表者大会

平成 29 年度 Jforest 全国森林組合代表者大会が開催され、森林吸収源対策のための安定財源確保に向けて『森林環境税』の早期実現について意見表明後、大会決議しました。また、当組合から 10 名の方が表彰されました。

表彰者（津南町森林組合）[敬称略]

◆感謝表彰（組織発展への功績）
前代表理事組合長 滝沢完治

◆感謝表彰
（功績のあった定年退職者）
寺口幸子、髙橋てる子

◆功労者表彰（永年勤続）
津端智津子、山田雄二、山田江利子、渡邉伸夫、高田佳紀、小宮山シノブ、大山竜太

県単助成を活用した森林整備

現在、組合では国県助成に対応させるため、森林経営計画制度の基に森林整備を進めております。

この制度は、ある一定の区域全体（約三十ha）で計画的に整備を行うため、単独、小面積などでは助成の対象になりません。

そこで、県単助成制度では国の助成が対応できない条件でも、別表の基準が満たされれば所有者負担額二十％で森林整備が行えますので、ご利用いただきたいと思います。

◎県単助成基準

施業種	林　齢	面　積	負担額目安(20%)
除間伐	15～45年生	0.10ha以上	60,000円 / 町歩 6,000円 / 反歩
枝打ち			70,000円 / 町歩 7,000円 / 反歩
下刈り	5～10年生		45,000円 / 町歩 4,500円 / 反歩

※随時受付はいたしますが、助成額の予算に上限がありますので、
申し込み順とさせていただきます。何卒ご了承ください。

森林整備後

森林整備前

バイオマス発電先進地視察

去る９月７日に津南町生産森林組合連絡協議会及び津南町森林整備推進委員会の合同視察として、長野県栄村森林組合のチップ生産工場と長野市の「いいづなお山の発電所」に行ってきました。

チップ工場では年間3,500トンの生産をし、バイオマス発電工場では、2,400kwの発電量があり、一般家庭の約6,500戸の電力がまかなえる量です。

現在の森林整備において、間伐は欠かせなくなってきましたが、津南町は根曲がり材などB、C材が多いのが現状です。

魚沼地域でも発電所計画があるなど、バイオマス発電で今後は、間伐材利用の需要が上がると考えられています。

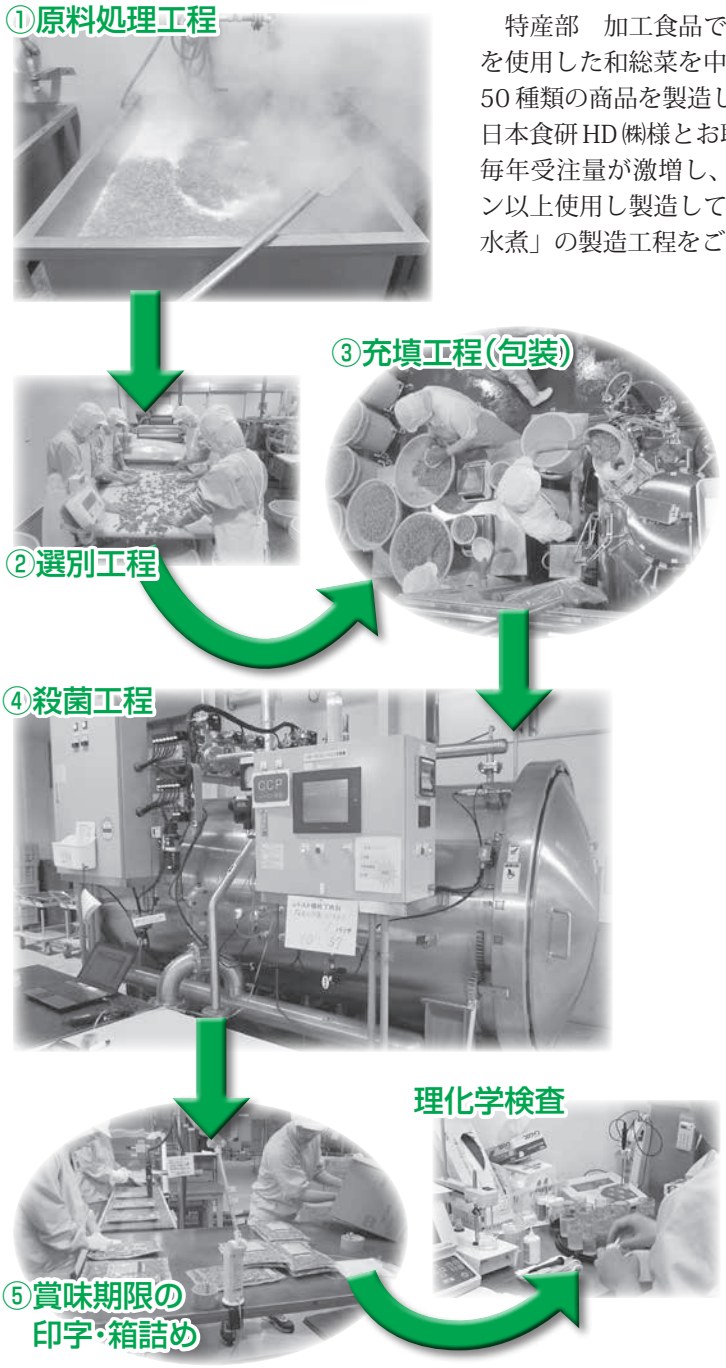
先進地を見ることにより、津南町の森林木材の将来性を考える有意義な視察になりました。

栄村森林組合チップ生産工場

いいづなお山の発電所

ヒット商品のご紹介

特産部　加工食品では、野菜類・山菜類・乾物類・きのこ類などを使用した和総菜を中心とした調味加工食品、水煮きのこ類など約50種類の商品を製造しております。中でも、なめこ水煮については、日本食研HD㈱様とお取引をさせて頂いてから６年目となりますが、毎年受注量が激増し、原料ベースとして生鮮なめこを年間500トン以上使用し製造しております。今回は、このヒット商品「なめこ水煮」の製造工程をご紹介させて頂きます。



①原料処理工程

１釜に処理水を400ℓ張り、沸騰後原料を200Kg投入。90℃以上昇温させ30分ボイル処理。（多い時は12釜使用）

②選別工程

翌日（2日目）、次工程にて規格外品の原料をコンベアを使用し目視選別。

③充填工程（包装）

翌日（3日目）、目視選別にて良品判定された原料を真空包装機にて、固形・調味液を量り袋に入れて真空包装。

④殺菌工程

真空包装機で包装された製品は、次工程の殺菌工程へコンベアにて搬入され、レトルト殺菌機にて120℃で殺菌されます。（始動から停止まで1時間40分）

⑤最終検品・検査

殺菌後の製品は、金属検出機・X線・賞味期限の印字・最終検品を行い箱詰めされます。問題なく理化学検査をクリアされた製品がヒット商品の「なめこ水煮」となり出荷されます。

ヒット商品の完成

安心な国産原料の商品として喜ばれています。使用用途としては、宿泊施設でのバイキングのお味噌汁・そば・うどんのトッピングなどで、とにかく引き合いが強いようです。

なめこ水煮 1.4kg

なめこ水煮 560 g
スタンドパック

この他にも沢山の商品がございますが、ご注文に応えられるよう日々生産に励んでいます。
今後も地元に少しでも貢献できるように頑張ってまいります。

きのこ講演会

津南特用林産物生産組合振興協議会では、去る十月二十日森林組合に於いて、きのこの情報誌【特産情報】の編集長であります、大橋等氏を講師としてお招きし、きのこの最近の情勢と今後の動向、ＧＡＰ（農業生産工程管理）についての講演会を開催いたしました。

平成二十六年度に次いで、二度目の開催でしたが、きのこの生産者、理事、職員が参加し、貴重な話を聞く事が出来ました。

特にＧＡＰにつきましては『２０２０年東京オリ・パラ食品調達基準に適用で注目を浴びている中、実際は国内流通中心、国産品信頼等の理由で現在○・三％の取得という低普及となっているが、ＧＡＰ認証を取引条件とする企業は増加している。』という説明で、生産者と取引企業、国の温度差を感じさせられました。

コンプライアンス研修

新潟県森林組合連合会、指導管理部指導課長代理の今井さんよりお越し頂き、コンプライアンスについて全員で研修し、社会貢献の意識を持って仕事に当たることを再確認しました。

※コンプライアンス
法令遵守だけでなく社内規定、企業倫理、社会人としての倫理、社会貢献、企業リスクの回避のためのルール作り、その運用と環境整備まで広く含まれる。

防火避難訓練

防火避難訓練を行い、南分署の方から講評をいただきました。訓練だとわかっていても緊張感があり、ドキドキでした。

きのこレシピ

なめこの白だし漬け

材　料

- なめこ（できれば大粒のもの）……200ｇくらい
- 白だし（市販品）……1カップくらい
- 醤油……少々（小さじ1/3くらい）
- 赤唐辛子……1本（種を取り除く）

作り方

❶1鍋にお湯を沸かします
❷ボウルに 市販の白だしを入れ、醤油少々、種を取り除いた赤唐辛子を入れます
※白だしは水などで薄めず、ストレートで。
醤油は味を見ながら小さじ１／３くらい。
お好みの味になる様に調整してください。
❸お湯が煮立ったらなめこを投入して、ひと煮立ちしたらざるにあげます。
❹なめこが熱いうちに②で作った白だしのつゆに入れ混ぜます。
❺粗熱が取れたらラップをして冷蔵庫で一晩冷やして出来上がり。

一晩漬けこむと味がしっかり染み込みます。
そのままご飯のおかずにしたり、大根おろしと一緒に酒の肴に。大根おろしと大葉と一緒に和風ハンバーグの付け合わせにしたり、パスタにからめたり、お蕎麦のトッピングにしたりなど。色々な使い方が出来ます。

健康講話

今年度の健康講話は、津原の尾池紀一さんに『呼吸法で健康になろう』という講演をしていただきました。尾池さんは丹田呼吸法を毎日行っていて、呼吸を意識して行うことで体の調子がよく、健康効果を体験しているそうです。

『**三呼一吸**』という呼吸法で、歩く時に実践するとよいそうです。
鼻から３回フッ、フッ、フーと息を吐いて、鼻から１回スーッと大きく吸う呼吸法です。

『**内観の法**』という呼吸法は、よく眠れない、寝起きが悪い方によいそうです。
①布団の上に大の字に横たわり目をつぶって全身の力を抜く。
②鼻からゆっくり息を吸いながら、おなかをへこませる。
③息を十分吸ったら、鼻から静かに息を吐いて、丹田を満たすようにだんだん深く大きく吐き、おなかをふくらましていく。
④②と③を３回ほどくりかえし、こころが鎮まったところで観想（こころで見て深く思う）する。

薬用植物編

＜その４＞　ウワミズザクラ

上溝桜（葉の表面に線が入って溝状に見えることから）と書きますが他にアンニンゴといえばわかる方も多いのではないでしょうか。この地域では５月ブナが先に芽吹き、山が薄緑色に色づき始めた頃、雑木林の中、道路や農地沿いの林地で枝先に５～７㎝程の白い花穂を付ける３～５ｍのバラ科サクラ属の中低木です。

蕾や実（種子）は果実酒にすると不老長寿に効く薬酒になると云われ、西遊記の三蔵法師はこの種子を探し求めて旅に出たとも伝わっているようです。有効成分はブルナシンを含み鎮咳作用があることから、秋に小豆粒位の実を収穫し、これを果実酒（あんにんご酒）にして利用します。

魚沼地方では春花穂が蕾の状況の時、葉を１枚付けて花穂ごと採取し天ぷらにしたり、塩漬けにしたものを料理の一品として提供しているところもあります。

なお「あんにんご」の由来については、花の香りから付けられたもので、アンズの種子が分解した時に出すベンズアルデヒドに似た芳香があることから、あんずの子「あんにんご（杏仁子）」に転訛したのではないかと云われています。

お知らせ

第51期通常総代会は、下記の日程で行われます。総代の方々には文書でご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

３月18日㈰
午前９時30分

職場体験
川西中　二年生

桟積作業

川西中学校２年生の職場体験授業で、男子生徒２名が10月27日に木材体験に来森しました。

慣れない中、一生懸命体験を受けていました。最初は指示された作業をこなしていましたが、途中からは木材を吟味しながらの、真剣なまなざしでの作業に変っていきました。

将来、木材関連の職業に就いてもらえるかな…。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。一年一年がだんだん早く感じるようになりましたが、新年を迎えるとまた新たな気持ちになります。いまさらですが、日本の行事は節目節目で大切なんだという思いです。組合も節目の50年を過ぎ、今後の目標は…35億！

職員紹介

●きのこ部●
藤原由美子
（津南町大割野）

きのこの生産工場新設当初からのメンバー。はじめの10年間はパートで、３年前に職員へ。『仕事を覚えるまでが大変でした。土曜、祝日が仕事なのも大変』。

趣味は寝る事と食べる事。忙しい毎日には欠かせない。甘いものでリフレッシュ。

同僚からは『超バリバリ仕事をこなす』、『常に動いていて止まることがない』と感嘆の声。『疲れますが、やりがいのある仕事です』とより良いきのこ生産に燃えているスーパーウーマンです！